レイモン・サヴィニャック 年譜

Raymond Savignac Time Line

西暦	和暦	月	日	サヴィニャック	年齢
1907	明治 40	11	6	レイモン・ピエール・ギョーム・サヴィニャック、フランスのパリ市15区ジャンヌ・アシェット通りに生まれる。 父はボン・マルシェ百貨店（パリ）の配送係、母は売り子で、ともにアヴェロン県の出身。 幼少期、両親が13区グラシエール街で大衆食堂の経営に転じ、一家は同地に居住。	0
1913	大正 2	9		14区プリス=ダヴェーヌ街の公立小学校に入学。	5
				この頃、両親が大衆食堂を売却、12区ボルト・ドレ至近のカフェを購入するが、戦争によって開業には至らず。	5 － 6
1914	大正 3	8	3	ドイツがフランスに宣戦布告。	6
				父が召集され、母は裁縫師となる（のちに軍需工場勤務）。 戦時中、学外活動として14区サン=ピエール・ド・モンルージュ教会付属青少年の家に通う。 空襲の激化に伴い、母とアヴェロン県ヴィルフランシュ=ドールエルグ（母の出身地）に半年間の疎開。	6 － 7
1918	大正 7				10 － 11
		11	11	パリ郊外コンピエーニュの森で、ドイツと連合軍との休戦協定が調印される。	11
				父が復員、両親はグラシエール街の大衆食堂を買い戻して営業再開。 この間、両親が大衆食堂を再度売却、2区プティ=カロー街のカフェを購入して開業、一家は17区ルジャンドル街に居住。自転車に没頭し、将来は競技選手を夢見る。	
1920	大正 9	9		8区ラボワジェ街のコレージュ（中学校）で高等工芸学校進学科に入学。	12
				この間、コレージュで商業科に転じるが、文学に没頭。	12 － 13
1922	大正 11				14 － 15
				コレージュを中退。 （求職中）	15
1923	大正 12			両親のカフェ顧客の紹介で、6区グラン=ゾーギュスタン河岸のパリ地域公共交通公団（STCRP）に入社、図案画工として働きながら、夜学で工業デザインを学ぶ。 職場の先輩マルセル・フォワンと親交。	15 － 16
1924	大正 13			STCRP で経理部へ異動後、数ヶ月で解雇される。 （求職中）	16 － 17
1925	大正 14			フォワンの紹介で、ロベール・ロルタックの広告アニメーション映画工房（オー=ド=セーヌ県モンルージュ）に画工として雇われ、仕事（既存ポスターの複写とオリジナルの広告画制作）を通じてポスターに目覚める。 この頃、両親がプティ=カロー街のカフェを売却、4区テュレンヌ街のカフェを購入して新規開業、一家は同地に居住。	17 － 18
1927	昭和 2			兵役に服する（当時フランス領のケール、並びにモゼル県サン=タヴォル、コート=ドール県ディジョン）。	19 - 20
1929	昭和 4			一年半の兵役を終える。 ロルタックの工房に復帰するかたわら、ポスター原画（自主制作）を描き溜め始める。 ロルタックの工房を辞め、パリで就職活動を開始（広告代理店回り）。 （フリーランスとして活動）	21 - 22
1933	昭和 8			飛び込みでアリアンス・グラフィック社（マルセル・モワラン創設の広告代理店、パリ）を訪ね、A.M. カッサンドルと面会、すぐさまポスター1種とチラシ2種の仕事を与えられる。 （アリアンス・グラフィック社の下請け）	25 - 26
1934	昭和 9	9		モワランの急死に伴い、アリアンス・グラフィック社が倒産・解散。	26
				カッサンドルのスタジオ（イヴリーヌ県ヴェルサイユ）にアシスタントとして通い始める。 実家を出て、8区サン=ラザール駅至近に下宿。 （カッサンドルのアシスタント）	26 － 27
1935	昭和 10			グループ展「ポスターと写真」（パリ、ピリエ=ヴォルムス画廊）に出品。 アシスタント生活をしながら、フランスのポスター図案家として多くの仕事を引き受ける。 （カッサンドルのアシスタント兼フリーランスとして活動）	27 － 28
1937	昭和 12			6区ジャコブ街のホテルへ転居。 （カッサンドルのアシスタント兼フリーランスとして活動）	29 － 30
1938	昭和 13	冬		カッサンドルの渡米に伴い、アシスタント生活と私淑を終える。 カッサンドルの紹介で、ドラジェール兄弟印刷所（モンルージュ）にポスター下絵師・図案家として入社。 （ドラジェール兄弟印刷所に勤務）	30 － 31
1939	昭和 14	9	3	フランスがドイツに宣戦布告。	31
				召集（ディジョン、テリトワール・ド・ベルフォール県ルピュイ=ジー）に伴い、ドラジェール兄弟印刷所を退職。 従軍中、同業のマックス・ポンティと親交。	31 － 32
1940	昭和 15	2	22	従軍休暇中、ヴァル=ド=マルヌ県サン・モール・デ・フォッセでマルセル・アンドレア・メルシエ（1912年、エーヌ県ソワソン生まれ、パリで婦人帽制作）と結婚。	32
		6	17	ドイツ軍によるパリ陥落。	
		6	22	独仏休戦協定、ドイツのフランス占領。	
		6		復員、6区ジール=クール街に居を構える。 （フリーランスとして活動）	
					32 － 33
1942	昭和 17			第30回フランス装飾美術家協会展（パリ）で広告コンソーシアム社（ウージェー・シュレール創設、ロレアル社傘下の広告代理店、パリ）のプロデューサー、ロベール・ゲランと出会う。 （フリーランスとして活動）	34 － 35
1943	昭和 18			ゲランの紹介で、広告コンソーシアム社にポスター・デザイナーとして入社。 （広告コンソーシアムに勤務）	35 － 36
1944	昭和 19			アルジャンヴィック広告（パリ）の仕事も始める。	36
		8	25	連合国軍・自由フランス軍によるパリ解放。	
				（広告コンソーシアム社に勤務しながら他社の仕事も引き受ける）	36 － 37
				（以下戦後）	
1947	昭和 22			シュレールの意向で、広告コンソーシアム社を解雇される。 （求職中）	39 － 40
1948	昭和 23			同業のベルナール・ヴィルモと再会、40 － 41 1区ダニエル・カサノヴァ街の共同アトリエ（ヴィルモほか2名）で制作を始める。 ヴィルモの提案で、二人展の準備に入る。 （フリーランスとして活動）	
1949	昭和 24	5	20	自主制作ポスター原画による「ヴィルモとサヴィニャック ポスター展」（パリ、メゾン・デ・ボザール）を開催、大きな成功を収める。 出品作《牛乳石鹸モンサヴォン》（ボツとなった旧作）がシュレールの眼に留まり、ロレアル社の広告として正式に採用される。	41
		6	4		
				（フリーランスとして活動）	41 － 42
1950	昭和 25			ブリュッセル・ポスター・サロン展（ベルギー）に出品。以降、国内外の展覧会に多々参画。	42 － 43
1951	昭和 26			フランス・ポスター大賞を受賞（対象作品：《牛乳石鹸モンサヴォン》ほか3点）。 これを記念して、写真家のロベール・ドアノーがサヴィニャックのポスターと活動をテーマにしたルボルタージュ作品を制作。 1950年代以降、仕事と生活が安定。	43 － 44
1952	昭和 27	7		AGI（当時パリ）の初代会員の一人となり、第1回総会（イギリス、ロンドン）にも参加。	44
				この頃、仕事量の増加に伴い、スタジオを点々と移しながら、より広い場所を探す。	44 － 45
1954	昭和 29			2区ヴォルネ通りにスタジオ・自邸を構える。 AGI総会（スイス、サン=サフォラン）に参加、これを機にグループ「アーティスト・パートナーズ」を結成（サヴィニャックほか3名）。	46 － 47
1955	昭和 30	3	24	第1回AGI展「世界の芸術と広告」 （パリ装飾美術館）に出品。	47
		5	8	同展の世界巡回。	47 － 48
1956	昭和 31			ニューヨーク・アート・ディレクターズ・クラブ主催の展覧会に出品、絶賛を得る。 以降、国際的な評価が高まる。	48 － 49
1957	昭和 32			マルティニ大賞で特別賞を受賞。 （対象作品：エール・フランスのシリーズ） 以降、受賞多数。	49 － 50
1960	昭和 35			マルティニ大賞で銀賞を受賞。 （対象作品：テレビ《オセアニック セルヴォ=レグレール》）	52 － 53
1963	昭和 38			フランス・ポスター大賞を受賞。 （対象作品：《ルノー4》）	55 － 56
1964	昭和 39			マルティニ大賞で金賞を受賞。 （対象作品：《アスプロ》）	56 － 57
1966	昭和 41			ポスターの普遍的な役割に関する誌上討論会に登場（雑誌『ルール』）。	58 － 59
1967	昭和 42			オスカー・グラフィック・アート賞を受賞。 フランス文化省主催の個展を開催（アミアン芸術館）、同展は国内外を巡回。 以降、個展の機会が増す。	59 － 60
1970	昭和 45			フランス・ポスター大賞で国家賞を受賞。 （対象作品：エール・フランスの《小さなフランス人》） マルティニ大賞で銀賞を受賞。 （対象作品：煙草《ラ・フランセーズ》）	62 － 63
1971	昭和 46			14区ヴィラ・ブリュンヌへ転居。 諷刺画による個展「ポスター厳禁」（パリ、ロベール・デルピール出版画廊）を開催、不評に終わる。 1970年代以降、世の中と広告のあり方の激変に伴い、仕事量が著しく減る。	63 － 64
1973	昭和 48			フランス・ポスター大賞で入賞。 （対象作品：《フランス国営宝くじ》）	65 － 66
1974	昭和 49				66 － 67
		12	27	レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章を受章。	67
1975	昭和 50			『レイモン・サヴィニャック自伝』 （*Savignac affichiste*） （ロベール・ラフォン出版、パリ）を刊行。	67 － 68
1978	昭和 53			フランス芸術文化勲章オフィシエ章を受章。	70 － 71
1979	昭和 54			カルヴァドス県トゥルーヴィル=シュル=メールの住宅を購入。	71 － 72
1981	昭和 56			フランス・ポスター大賞を受賞。 （対象作品：《前へ、シトロエン！》）	73 － 74
1982	昭和 57			トゥルーヴィル=シュル=メールへ転居。 以降、穏やかなペースで創作活動を続ける。	74 － 75
1984	昭和 59			フランス屋外広告大賞を受賞。 （対象作品：シトロエンの広告シリーズ）	76 － 77
1986	昭和 61	9		ドキュメンタリー映画「街路の人サヴィニャック」（*Savignac, homme de la rue*）（監督：ダニエル・コスト=ランバール、助監督：ダニエル・コスマルスキ、制作：アンナ・プロダクションズ）の封切。	78 － 79
1987	昭和 62			自著『サヴィニャック ポスター A-Z』 （*Savignac: L'affiche de A à Z*） （エーベケ出版、パリ）を刊行。	79 － 80
1989	平成 1	3	24	レジオン・ドヌール勲章オフィシエ章を受章。	81 － 82
1992	平成 4				84 － 85
		11	16	国家功労勲章コマンドゥール章を受章。	85
1996	平成 8			トゥルーヴィル=シュル=メールの町旗をデザイン。	88 － 89
				（以下21世紀）	
2001	平成 13			トゥルーヴィル=シュル=メールの海岸沿いの歩道が「サヴィニャック遊歩道」と命名される。	93 － 94
2002	平成 14	10	29	サヴィニャック、トゥルーヴィル=シュル=メールで逝去、享年94歳。	94